

令和7年度 第2回

## 長岡市水族博物館協議会次第

日時：令和8年2月13日（金）午後3時から

場所：寺泊きんぱちの湯

1. 開 会

2. 教育部参事挨拶

3. 議 題

(1) 令和7年度事業実施状況について・・・別紙1

(2) 令和8年度事業実施計画（案）について・・・別紙2

(3) 水族博物館整備事業の計画（概要）について・・・別紙3

(4) その他

4. 閉 会

**【提出資料】**

- ・ 観覧者数及び観覧料収入の推移

## 長岡市水族博物館協議会委員名簿

任 期 自 令和 6年 4月 1日  
至 令和 8年 3月 31日

	氏 名	選出区分	備 考 (推薦団体・主な経歴)
委員長	柳 下 明 也	学識経験者	元寺泊町教育長
副委員長	大 浦 方 明	市民代表	一般公募
委 員	池 浦 津代志	団体推薦	寺泊漁業協同組合
委 員	川 上 望	市民代表	一般公募
委 員	駒 形 久美子	市民代表	一般公募
委 員	佐 藤 敏 明	団体推薦	長岡観光コンベンション協 会専務理事
委 員	品 田 由 佳	市民代表	一般公募
委 員	清 水 祐 子	団体推薦	長岡市三島郡小・中・総合 支援学校長会連絡協議会 長岡市立柿小学校長
委 員	家 後 千津江	団体推薦	寺泊観光協会

(敬称略)

## 令和 7 年度事業実施状況について

### 1 事業概要

令和 7 年度は例年並みの事業を計画した。熱中！感動！夢づくり教育推進事業、普及活動・職場体験・博物館実習生等の受入については、通常の業務状況や職員体制を考慮しながら柔軟に実施できた。8 月後半からゲームソフト「アクアリウムは踊らない」とコラボイベントを行い、期間中前年比約 3 千人増の入館者を記録した。

また、現在の施設保守のため休館日(約 10 日)を設け、飼育作業の効率化、施設の点検・整備を図っている。

### 2 誘客宣伝事業

- ・新しい展示、催し等の都度、マスメディアへ向けた情報発信、情報提供を積極的に行い、話題あふれる活動を行っている。また、寺泊水族博物館公式ホームページやアプリ・SNS を活用し、当館の話題だけではなく、寺泊地域の情報など様々な情報発信を実施している。
- ・リピーター向けの「観覧料割引券付きレシートによる割引」を利用した観覧者数は、2,565 人(令和 8 年 1 月末現在)で、対前年比約 21%の増となり、認知度が向上している。
- ・スタンプカードによる記念品や餌やり体験、ガチャガチャの商品展開、オリジナルグッズ開発も進めている。
- ・「冬期間中学生以下観覧料無料キャンペーン」を市内各校にポスター配布を行い実施中である(令和 8 年 1 月 10 日から 2 月 28 日まで)。

### 3 活動事業

#### (1) 熱中！感動！夢づくり教育推進事業

##### ① 「親子わくわく魚ランド」の実施

水族博物館の舞台裏の見学やミズダコやピラニアなどの飼育生物の餌作り、餌やり体験を通して、水族館の仕組みや水生生物の行動などを観察した。

- ・夏季：令和 7 年 7 月 29 日～ 8 月 19 日の毎週火曜日(4 回)
- ・秋季：令和 7 年 8 月 31 日～ 10 月 12 日の毎週日曜日(6 回)

事前申込した小学生の親子を対象に、1 回あたり 5 組 10 名を目安に実施した。

総参加者は 78 人で、前年度比 1 人増となっている。

月 日	参加人数			月 日	参加人数		
	大 人	こども	計		大 人	こども	計
7月29日(火)	4人	4人	8人	9月14日(日)	5人	4人	9人
8月5日(火)	4人	4人	8人	9月28日(日)	4人	4人	8人
8月12日(火)	4人	4人	8人	10月5日(日)	3人	4人	7人
8月19日(火)	4人	4人	8人	10月12日(日)	4人	4人	8人
8月31日(日)	3人	3人	6人				
9月7日(日)	4人	4人	8人	計	39人	39人	78人



## ②「移動水族博物館」の実施

水生生物の飼育を体験し、生物の生態等を観察することで、生物に対する興味や接し方、観察力の育成を図った。今年度は1校のみの実施となった。

・実施状況

学 校 名	期 間	参加児童数	飼 育 生 物
栃尾東小学校	9月9日 ～10月9日	2年生 41人	オデッサバルブ・オトシクルス・ ゼブラダニオ・ロングフィンゼブラ ダニオ・ミッキーマウスプラティ



## (2) 体験展示・企画展の開催

### ①体験展示

これまで「魚のお医者さん・ガラルファ(ドクターフィッシュ)で足湯体験」を行っていた旧タッチプール(2階)については、別の活用で検討を継続する。

### ②企画展

クリスマスの装飾や正月干支にちなんだ魚(ワタカ)の展示など季節、行事にあった企画展示を行い、メディア等の取材を受け情報発信できた。



## (3) 普及活動・催しの実施

### ① 水生生物探索会

長岡市の自然環境の中で生息している水生生物の探索体験や水辺の環境観察などを通して、親子に水生生物、自然環境への関心を得る機会として実施した。

- ・タツノオトシゴを探そう！日本海体験

令和7年7月27日(日)、8月10日(日)・17日(日)

参加人数：小学生8人 保護者7人

- ・ビーチコーミング・日本海体験

令和7年10月26日(日)、11月2日(日)・9日(日)

参加人数：小学生1人 保護者1人



## ② 動物ふれあい教室

### ・サメにドキドキタッチ

水族博物館で飼育している小型のサメに触れてもらい、サメ肌の体験などを通してサメの繁殖、生態について解説した。

令和7年10月4日（土）～11月29日（土）の毎週土曜日 午前10時30分から

参加人数：小人80人 大人100人

### ・ケヅメリクガメと遊ぼう

水族博物館の屋外で体重25kg、甲長60cmのケヅメリクガメにクローバーなどの給餌体験をしたり、カメについてのクイズに挑戦してもらい、ウミガメ、リクガメ、淡水性のカメについて解説した。

令和7年5月17日（土）～7月27日（日）及び9月6日（土）～28日（日）の毎週土・日及び祝日 午後2時15分から（整理券配布、雨天中止）

参加人数：小人171人 大人173人



## ③ ダイバーによる餌付けショー

餌付けショーを観覧者に喜んでもらえるように、餌のやり方を変え、記念撮影に応じるなど、観覧者の反応からダイバーと一緒にショーの内容を工夫した。また、クリスマスシーズンには恒例のサンタダイバー（トナカイダイバー）を実施した(11月22日～12月25日)。



#### ④ スポット解説

来館者に声かけを行い、希望者には10分程度の飼育生物の解説を行った。

#### ⑤ 出張展示・講話の協力

今年度は職員体制やイベント対応もあり実施を見送った。

#### ⑥ 大人限定水族博物館バックヤードツアー(ガイドツアー)

施設の制約上、大人を対象に実施。水族館の仕組みや活動を中心に、水生生物の生態、日本海の生物、環境問題等を解説、長岡の自然や生物の説明や解説を行った。

令和7年4月から毎月第3日曜日（8月を除く、11回実施予定）

参加者：大人35人（令和8年1月末現在）

### (4) 調査研究活動

- ・ホトケドジョウ生息調査（長岡市内 10月）
- ・アマモ（海草）の生育調査（水族博物館脇 4月～12月）
- ・漂着生物調査（寺泊の各海岸 周年）

### (5) 職場体験・総合学習等の受入れ

- ・職場体験

7月2日（水） 堤岡中学校 3人

10月14日（火） 寺泊中学校 3人

### (6) 博物館実習生・学外実習生の受入れ

令和7年度は実施しなかった。

### (7) 裏方探検及び魚に関する相談

コミュニティセンターや子ども会などの団体からのバックヤード見学に逐次対応した。

### (8) 水族博物館の新しい取り組み

#### ① 館内Wi-Fiの整備と活用

水族博物館の公式アプリを令和6年度から運用している。紙のスタンプカードをデジタル(アプリ内)に切り替えるとともに、アプリ上でお知らせやイベント案内を発信するほか、簡単な問い合わせに答えるなど、情報受信にも活用している。

#### ② ホームページやSNSの活用

ホームページでイベントや話題の発信や館内の混雑状況を発信するなど、SNS（公式X、旧Twitter）の活用などを通じて、魅力ある情報を提供している。

一部イベント申し込みもインターネットを活用し、事務の簡素化に役立っている。



### ③ 水族博物館オリジナルグッズの製作と頒布（継続）

水族博物館の新しい魅力の創出、歳入確保の目的として、令和3年度から開始したオリジナルグッズの頒布が好調であることから、職員のアイデアも取り入れた商品展開やグッズの開発を進めている。



## 4 入館状況

令和8年1月時点で入館者101,868人であり、対前年比約6.5%の増となっている。新型コロナウイルスによる自粛傾向が終わり、人流が増えている。コラボ企画など一時的な入館者増加の手法もあるが、近隣施設との連携など協力体制の中で寺泊エリア、長岡エリアとしての知名度、認知度を高める活動を継続する。

## 令和8年度事業実施計画について（案）

### 1 事業概要

令和8年度は例年並みの事業を計画している。熱中！感動！夢づくり教育推進事業、普及活動・職場体験・博物館実習生等の受入については、通常の業務状況や職員体制を考慮しながら柔軟に実施を判断する。

休館日を作業等休館日（約10日）に、冬季を中心に臨時休館日を追加し、飼育作業の効率化、施設の点検・整備を行う。

### 2 誘客宣伝事業

- ・新しい展示、催し等の都度、マスメディアへ向けた情報発信、情報提供を積極的に行い、話題あふれる活動、事業を展開する。また、寺泊水族博物館公式のホームページやSNSを活用し、当館の話題だけではなく、寺泊地域の情報など様々な情報発信に取り組む。
- ・これまでリピーター増加対策として実施してきた「観覧料割引券付きレシートによる割引」は、令和8年度も継続して行う。
- ・入館スタンプを紙からアプリに切り替え、アプリの活用を促しリピーター増加を図る。入館スタンプをためるともらえる記念品や餌やり体験などの特典の充実も合わせて行う。
- ・「冬期間中学生以下観覧料無料キャンペーン」についても、引き続き1月中旬から2月まで実施する。

### 3 活動事業

#### (1) 熱中！感動！夢づくり教育推進事業

##### ① 「親子わくわく魚ランド」の実施

水族博物館の舞台裏の見学やミズダコやピラニアなどの飼育生物の餌作り、餌やり体験を通して、水族館の仕組みや水生生物の行動などを観察する。

- ・夏季：令和8年7月28日～8月18日の毎週火曜日（4回）
- ・秋季：令和8年8月30日～10月11日の毎週日曜日（7回）

##### ② 「移動水族博物館」の実施

水生生物の飼育を体験し、生物の生態等を観察することで、生物に対する興味や接し方、観察力の育成を図ることを目的に実施する。

年間2校（春季、秋季に1校ずつ）の市内小学校での実施予定。

## (2) 体験展示・企画展の開催

### ① 体験展示

引き続き検討する。

### ② 企画展

引き続き、クリスマスや正月など季節、行事にあった企画展示を行い、情報発信に努める。

## (3) 普及活動・催しの実施

### ① 水生生物探索会

長岡市の自然環境の中で生息している水生生物の探索体験や水辺の環境観察などを通して、親子に水生生物、自然環境への関心、理解を深めてもらう。

・タツノオトシゴを探そう！日本海体験

令和8年7月26日(日)、8月9日(日)・16日(日)

・ビーチコーミング・日本海体験

令和8年10月25日(日)、11月1日(日)・8日(日)

### ② 動物ふれあい教室

・サメにドキドキタッチ

水族博物館で飼育している小型のサメに触れてもらい、サメ肌の体験などをおしてサメの繁殖、生態についてわかりやすく解説する。

令和8年10月3日(土)～11月28日(土)の毎週土曜日(9回実施予定)

・ケヅメリクガメと遊ぼう

水族博物館の屋外で体重20kg、甲長60cmのケヅメリクガメにクローバーなどの給餌体験をしたり、カメについてのクイズに挑戦してもらい、ウミガメ、リクガメ、淡水性のカメについて分かりやすく解説する。

令和8年5月16日(土)～9月27日(日)毎週土・日曜日及び祝日(20回程度実施予定。8月は暑さのため実施しない)

### ③ ダイバーによる餌付けショー

観覧者にさらに喜んでもらえるように、餌のやり方を変えてみるなど、観覧者の反応を見ながらショーの内容が魅力的となるよう努める。また、クリスマスシーズンには恒例のサンタ&トナカイダイバーを実施する。

### ④ スポット解説

積極的に係員が来館者に声かけを行い、希望者に飼育生物の解説を10分程度行う。

### ⑤ 出張展示・講話の協力

各支所の産業まつりや保育園、小学校の依頼により、タッチプール、リクガメ等の出

張展示や水生生物の講話に協力する。

⑥ 大人限定水族博物館バックヤードツアー(ガイドツアー)

大人を対象とした水族博物館バックヤードツアーで、水族館の仕組みや活動を紹介したり、水生生物の生態、日本海の生物、環境問題等を解説と体験を通して、長岡の自然や生物についての理解や興味を深めてもらうことを目的として実施する。

令和8年4月から毎月第3日曜日（8月を除く。11回実施予定）

(4) 調査研究活動

- ・ホトケドジョウ生息調査（長岡市内）
- ・アマモ（海草）の生育調査（水族博物館脇 4月～12月）
- ・漂着生物調査（寺泊の各海岸 周年）

(5) 職場体験・総合学習等の受入れ

申し出により、逐次対応する。

(6) 博物館実習生・学外実習生の受入れ

申し出により、逐次対応する。

(7) 裏方探検及び魚に関する相談

申し出により、逐次対応する。。

(8) 水族博物館の新しい取り組み

① 館内 Wi-Fi の整備と活用

公式アプリの活用、アプリ内スタンプカードからの誘客を進める。お知らせやイベント案内を配信し、アプリ登録者増に取り組む。

館内に整備した Wi-Fi から、QRコードによる解説動画や飼育生物の映像の配信などデジタル環境整備に取り組む。

② 公式ホームページやSNSの活用

公式アプリのほかに、公式ホームページでもイベントや話題の発信に加えて、館内の混雑状況の配信する。

SNS（公式X、旧 Twitter）のプッシュ型で魅力ある情報を提供する。

③ 水族博物館オリジナルグッズの製作と頒布（継続）

水族博物館の新しい魅力の創出、歳入確保の目的として、オリジナルグッズの頒布を進める。

## 水族博物館整備事業の計画（概要）について

### 1 水族博物館整備事業の実施状況と計画について

#### (1) 令和7年度実施状況

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| ・ 大回遊水槽照明改修工事      | 6月竣工   |
| ・ 壁掛冷暖房機更新工事       | 7月竣工   |
| ・ 3階飼育室建具改修工事      | 9月竣工   |
| ・ 防火設備改修工事         | 12月竣工  |
| ・ 海水寒帯予備水槽ろ過設備改修工事 | 2月竣工   |
| ・ 屋上防水改修工事         | 3月竣工予定 |
| ・ 揚水配管等改修工事        | 3月竣工予定 |

#### (2) 今後の水族博物館改修・整備等の計画

- ・ 令和7年度に、ろ過設備改修工事、屋上防水工事等の大規模改修が終了したことから、令和8年度は設備の状況を確認する期間とし、整備事業予算としては「温水ヒータへの燃料供給装置」の改修を計画している。建物、機械設備の改修、整備を今後も必要に応じ計画的に進める。
- ・ 今後の方向性については、水族博物館協議会のこれまでの意見も踏まえ、水族博物館構想の策定に向けて、寺泊支所、教育委員会等が連携して検討作業を進める。

令和7年度 第2回  
長岡市水族博物館協議会 資料

■観覧者数及び観覧料収入の推移

.....1

観覧者数及び観覧料収入の推移

